

m004001	[安房区]本仏寺・粟穂神社	概要 適用
 <p>m004001001) 本仏寺正面</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="255 842 483 997">  <p>m004001002 戦没者慰霊碑</p> </div> <div data-bbox="519 842 748 997">  <p>m004001003 如竹堀</p> </div> <div data-bbox="801 842 1030 997">  <p>m004001004 粟穂神社入り口</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="255 1094 483 1249">  <p>m004001005 粟穂神社正面</p> </div> <div data-bbox="519 1094 748 1249">  <p>m004001006 粟穂神社本殿</p> </div> <div data-bbox="801 1094 1030 1249">  <p>m004001007 本殿の彫刻</p> </div> </div>		<p>【概要】</p> <p>○粟穂神社</p> <p>御神体 鏡二面が社内部に鎮座。</p> <p>祭 神 正祀 天津日高彦彦火火出見尊</p> <p>相殿 ??草葺不合尊{うがやふきあえずのみこと}・大山祇命・金山彦命</p> <p>配祀 屋船久々能知神・屋船豊受姫神{夫婦 家の神様}</p> <p>牛置帆負神・彦狭知神{夫婦 大工の神様}</p> <p>祭日 陰暦三月三日/陰暦九月二九日</p> <p>その他情報</p> <p>創始は全くの不明、明治の時代の廃仏毀釈により僧侶の管理であったものが神道一色に変わったとされる。戦中は出征兵士の武運長久・願ほどきに多くが参詣したが、近年は静か。</p> <p>拝殿横には元々如竹神社横に祭られていたという石碑「涙の神」が祭られている。</p> <p>同敷地と呼べる隣に本仏寺があり、神仏混交の面影を感じる。</p> <p>○本仏寺</p> <p>京都本能寺尼ヶ崎本興寺の末寺。律宗であった種子・口永良部・屋久島は、長享二年{1488}に全島法華經に帰依し、本能寺・本興寺第七世日像聖人の開基とされる。</p> <p>本仏寺の元に本要寺{船行}・本慶寺{麦生}・本院寺{原}・本経寺{尾の間}・典良院{小島}などを置き、その中心的存在であった。日章こと泊如竹を産んだ寺である。</p> <p>構内には泊如竹の作ったとされる用水路「如竹堀」、第二次大戦戦没者慰霊等</p>



m004001008  
石碑らしい石



m004001009  
社殿横に「浜の神」



m004001010  
共同墓地跡地

があり、粟穂神社の大祭に合わせて慰霊祭が行われる。

昭和五二～五六年の四か年事業で安房霊園に移設されたが、かつては裏手に霊園があり、歴代住職の墓も存在した。

#### 【位置的情報】

安房集落を見下ろす丘の上、神社仏閣にありがちな一等地に本仏寺・粟穂神社ともに並んで存在する。

#### 【文献・資料】

文献① 屋久島郷土誌第三巻 P355 前後

#### 【写真】

m004001001 本仏寺正面

m004001002 境内に戦没者慰霊碑

m004001003 原形をとどめる如竹掘

m004001004 粟穂神社入り口

m004001005 粟穂神社正面

m004001006 粟穂神社本殿

m004001007 本殿に刻まれた彫刻

m004001008 裏手に石碑らしい石

m004001009 社殿横に「浜の神」

m004001010 かつての共同墓地は現在ゲートボール場である。

{短いキャプション}

m004001001 本仏寺正面

m004001002 戦没者慰霊碑

	m004001003 如竹掘
	m004001004 栗穂神社入り口
	m004001005 栗穂神社正面
	m004001006 栗穂神社本殿
	m004001007 本殿の彫刻
	m004001008 石碑らしい石
	m004001009 社殿横に「浜の神」
	m004001010 共同墓地跡地。